

OpenOLAP インストールガイド

R 1.0.1

2004 年 2 月



OpenOLAP インストールガイド

R 1.0.1

商標

本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

なお、本文中には TM、® マークは明記していません。

目次

1 前提条件	1
2 インストール方法	2
2.1 インストール方法	2
2.2 MetaTool	2
2.3 Designer / Viewer 共通設定	6
2.4 Designer	6
2.5 Viewer	7
2.6 サンプルデータの取り込み	9
2.7 動作確認	10
2.7.1 Designer	10
2.7.2 Viewer	11

1 前提条件

OpenOLAP を実行する上で、以下の条件を満たしていることが前提条件となります。

マシン	種類	使用製品
サーバー	OS	Red Hat Linux 9
	データベースサーバー	PostgreSQL 7.3
	WWW サーバー	Apache 2.0
	アプリケーションサーバー	Tomcat 4.1 Tomcat Web Server Connectors
	Java 開発環境	J2SE1.4
クライアント	ブラウザ	Internet Explorer 6.0

2 インストール方法

2.1 インストール方法

インストールは次の順序に行います。

1. OpenOLAP_Vx.x.zip を任意のディレクトリに解凍します。
2. 「Meta Tool」「Designer」「Viewer」のそれぞれインストールを行います。
3. 必要であればサンプルデータを取り込みます。

2.2 MetaTool

1. OpenOlap¥exe¥metaTool ディレクトリ内の 6 ファイルを任意ディレクトリ内にコピーします。

- MetaTool.jar
- createTimeData.oo
- createProcedure1.oo
- createProcedure2.oo
- createProcedure3.oo
- createMetaTable.oo

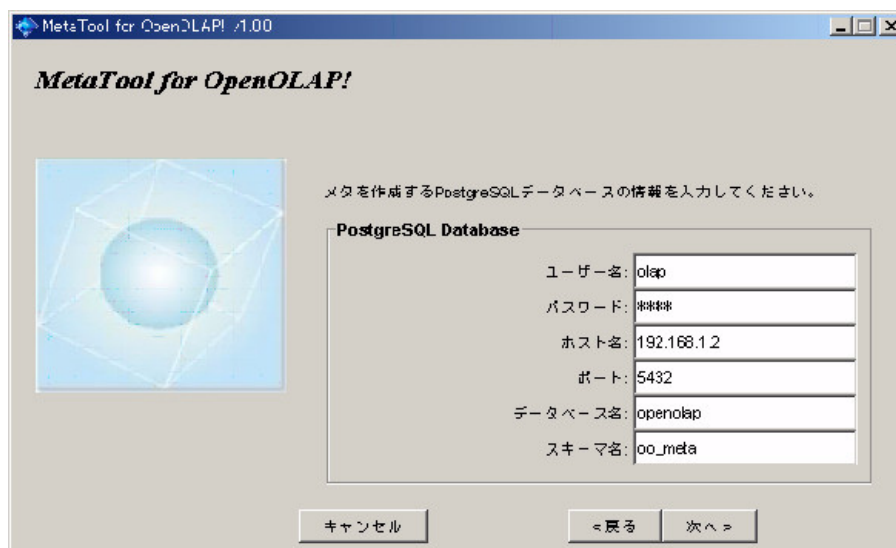
2. PostgreSQL にデータベース、ユーザー、スキーマを作成します（ここではデータベース「openolap」、ユーザー「olap」、スキーマ「oo_meta」と仮定）。

```
createuser olap
createdb -O olap -E EUC_JP openolap
psql -U olap openolap
create schema oo_meta;
```

3. MetaTool.jar をダブルクリックして Meta Tool を起動させます。



4. [次へ] ボタンをクリックします。
5. 以下の情報を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。



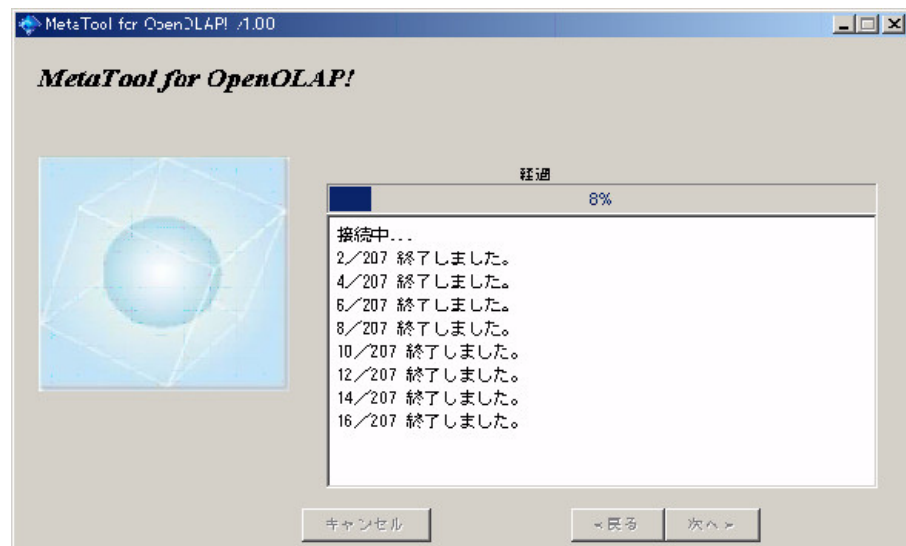
項目名	内容
ユーザー名	PostgreSQL ユーザー
パスワード	PostgreSQL ユーザーのパスワード
ホスト名	PostgreSQL が動作しているホストマシンの名前または IP アドレス
ポート	PostgreSQL のポート番号 (デフォルト「5432」)

項目名	内容
データベース名	PostgreSQL のデータベース名
スキーマ名	PostgreSQL のスキーマ名（ここでは、ユーザー名「olap」、パスワード「olap」、ホスト名「192.168.1.2」、ポート「5432」、データベース名「openolap」、スキーマ名「oo_meta」を入力する）

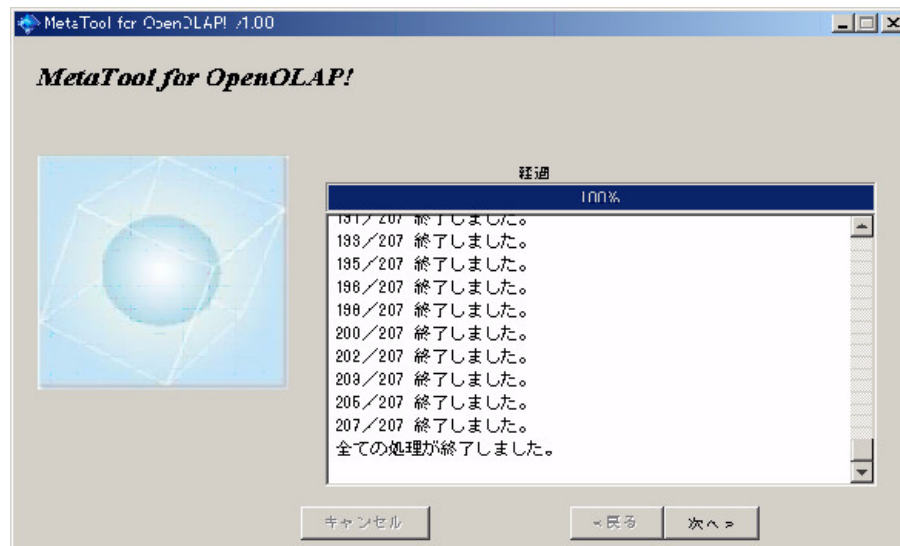
6. 入力情報を確認後、[次へ] ボタンをクリックします。



7. メタ情報の作成処理が開始されます。



8. 処理が終了したら「次へ」ボタンをクリックします。



9. 「閉じる」ボタンをクリックします。



2.3 Designer / Viewer 共通設定

Postgres JDBC ドライバーをインストールします。

1. OpenOlap¥src¥Viewer¥postgresql734.jar を \$CATALINA_HOME/common/lib に配置します。

2.4 Designer

1. OpenOlap¥exe¥Designer¥designer.war を \$CATALINA_HOME/webapps/ に配置します。
2. \$APACHE2_HOME/conf/workers2.properties を編集します。
(下記設定情報を追加する)

```
[uri:/designer/*]
info=Openolap designer Application.
context=/designerdebug=0
```

3. TOMCAT, APACHE の順に再起動します。

例)

```
/usr/local/tomcat/bin/shutdown.sh
/usr/local/tomcat/bin/startup.sh
/usr/local/apache2/bin/apachectl restart
```

4. \$CATALINA_HOME/webapps/designer/login.ini を編集し、環境設定を行います。

[Environment]

DESIGNER_CLASSES_PATH	\$CATALINA_HOME/webapps/designer/WEB-INF/classes の絶対パス
JDBC_DRIVER	PostgreSQL JDBC ドライバの絶対パス

[Connect]※コネクト情報は複数記述可

LIST_NAME	任意接続名 (ログイン画面のリスト表示に使用)
USER_NAME	Meta Tool で指定したユーザー (olap)
SCHEMA_NAME	Meta Tool で指定したスキーマ (oo_meta)
CONNECT_SOURCE	jdbc:postgresql:// ホスト名:ポート番号/接続先データベース名 (openolap)

設定例

[Environment]

```
DESIGNER_CLASSES_PATH=/usr/local/tomcat/webapps/
designer/WEB-INF/classes
JDBC_DRIVER=/usr/local/tomcat/webapps/designer/WEB-
INF/classes/majolica/postgresql734.jar
```

[Connect 1]

```
LIST_NAME= メタ 1
USER_NAME=olap
SCHEMA_NAME=oo_meta
```

```
CONNECT_SOURCE=jdbc:postgresql://192.168.*.*:5432/openolap
```

2.5 Viewer

1. viewer.war を \$CATALINA_HOME/webapps/ に配置します。
2. \$APACHE2_HOME/conf/workers2.properties を編集します。
(下記設定情報を追加する)

```
[uri:/viewer/*]

info= Openolap viewer Application.
context=/viewer
debug=0
```

3. TOMCAT, APACHE の順に再起動します。

例)

```
/usr/local/tomcat/bin/shutdown.sh
/usr/local/tomcat/bin/startup.sh
/usr/local/apache2/bin/apachectl restart
```

4. \$CATALINA_HOME/conf/server.xml を編集し、TOMCAT のコネクションプーリングの設定を行います。

url	jdbc:postgresql:// ホスト:ポート番号 / 接続先データベース名 (openolap)
username	Meta Tool で指定したユーザー (olap)
password	Meta Tool で指定したパスワード (olap)

設定例

```
url:jdbc:postgresql://192.168.*.*:5432/openolap
username:olap
password:olap
```

例) < Host name="localhost" > タグ内に下記を記述する

```
<DefaultContext>
  <Resource name="jdbc/WroxTC41" auth="Container" type="javax.sql.DataSource"/>
  <ResourceParams name="jdbc/WroxTC41">
    <parameter>
      <name>driverClassName</name>
      <value>org.postgresql.Driver</value>
    </parameter>
    <parameter>
      <name>url</name>
      <value>jdbc:postgresql://192.168.*.*:5432/openolap </value>
    </parameter>
    <parameter>
      <name>username</name>
      <value>olap</value>
    </parameter>
    <parameter>
      <name>password</name>
      <value>olap</value>
    </parameter>
    <parameter>
      <name>maxActive</name>
      <value>10</value>
    </parameter>
    <parameter>
      <name>maxIdle</name>
      <value>5</value>
    </parameter>
    <parameter>
      <name>maxWait</name>
      <value>100</value>
    </parameter>
  </ResourceParams>
</DefaultContext>
```

5. \$CATALINA_HOME/webapps/viewer/WEB-INF/classes/openolap/viewer/common/ viewer.properties を編集し、環境設定を行います。

[DB 接続情報]

PostgresDAOFactory.meta	Meta Tool で指定したスキーマ (oo_meta)
-------------------------	-------------------------------

設定例

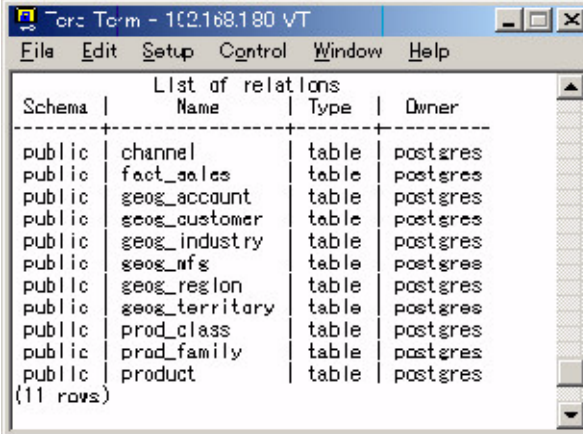
PostgresDAOFactory.meta= oo_meta

2.6 サンプルデータの取り込み

OpenOLAP マニュアルで使用されているサンプルデータを取り込むには、以下の手順でデータをインポートします。

(データベース名を openolap と仮定する)

1. OpenOLAP¥sample_data¥mart.dmp を任意のディレクトリに配置します。
2. 上記ディレクトリで、PostgreSQL の下記コマンドを発行します。
`pg_restore -O -d openolap mart.dmp`
3. `psql openolap` で PostgreSQL に接続し、`\d` コマンドを発行して以下 11 テーブルが作成されていることを確認します。



Schema	Name	Type	Owner
public	channel	table	postgres
public	fact_sales	table	postgres
public	geog_account	table	postgres
public	geog_customer	table	postgres
public	geog_industry	table	postgres
public	geog_mfg	table	postgres
public	geog_region	table	postgres
public	geog_territory	table	postgres
public	prod_class	table	postgres
public	prod_family	table	postgres
public	product	table	postgres

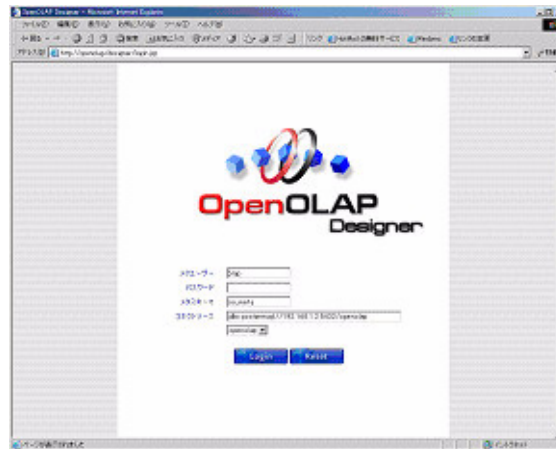
(11 rows)

2.7 動作確認

2.7.1 Designer

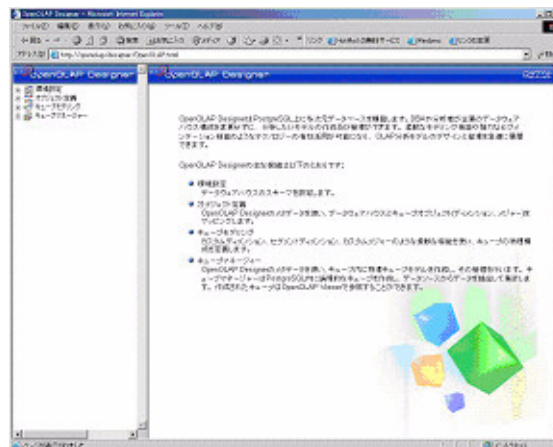
1. ブラウザを立ち上げ、下記のアドレスにアクセスし、ログイン画面が表示されることを確認します。

`http://<ホスト名>/designer/login.jsp`



2. ログイン画面でユーザー名、パスワード、メタスキーマ、コネクトソースを入力後、ログインボタンを押下し、ログインができることを確認します。

項目	入力内容
ユーザー名	Meta Tool で指定したユーザー (olap)
パスワード	Meta Tool で指定したパスワード (olap)
メタスキーマ	Meta Tool で指定したスキーマ (oo_meta)
コネクトソース	jdbc:postgresql:// ホスト名 : ポート番号 / 接続先データベース名 (openolap)



2.7.2 Viewer

1. ブラウザを立ち上げ、下記のアドレスにアクセスし、ログイン画面が表示されることを確認します。

`http://<ホスト名>/viewer/login.jsp`



2. ログイン画面でデフォルトのユーザー名、パスワードを入力後、ログインボタンを押下し、ログインができることを確認します。

＜一般ユーザー＞

ユーザー名：user

パスワード：user

＜管理者ユーザー＞

ユーザー名：admin

パスワード：admin

